

大洲の重文「如法寺仏殿」改修支援

郷里への念 絵本に込め

ワイドえひめ

古里大洲の如法寺改修を支援しようと、肱川が題材の絵本を出版した三瀬さん



大洲市柚木の国重要文化財(重文)「如法寺仏殿」の大規模修理などを支援しようと、同市出身の元中学教諭三瀬洋子さん(65)＝北九州市

門司区＝がこのほど、肱川を舞台にした絵本「石のひみつ」(A4横版、34頁)を千部制作した。1部千円で、収益は全額寄付する。

北九州の三瀬さん 収益寄付の自費出版

公演には、両校の3

空の町」主催する「オカしくて大きな声が出

WIDE EHIME

三瀬さんは如法寺近くの
大洲市常磐町で育ち、今は北九州市を拠点に詩と童話による音楽コンサート活動をしている。如法寺は檀家(だんか)約50戸と少なく、檀家らでつくる修復募金委員会が修復費など5千万円を目標に寄付を募集。これを知った三瀬さんは5月、大洲市民会館で修復支援チャリティーコンサートを開いた。

コンサートで朗読するため創作した「石のひみつ」は、小学生の時に同年代の女兒が肱川でおぼれたことや、買ったばかりのブローチが台風接近の折に肱川橋で風に飛ばされた経験を題材にした。東京での教員時代に同僚

三瀬さんは「美しいものに感動する心優しい人になってほしい」と本に込めたメッセージを語った。如法寺の村上玄樹住職(60)は「伽藍(がらん)全体が老朽化しており広く応援を願いたい。コンサートに続き、2度も心に留めてもらい恐縮している」と話した。

本は大洲市中村の料理店「との町たる井」
電話0893(24)3000で販売中。
(秦俊太郎)